

# UCCX 8.0 : 起動中の Agent Desktop での証明書エラー

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco Unified Contact Center Express ( UCCX ) 8.0 では、Cisco Agent Desktop は起動時に複数の証明書の警告を送出します。このドキュメントでは、この問題のトラブルシューティング方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Contact Center Express 8.0 に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

UCCX 8.5.1 SU2 から SU3 へのアップグレード後、エージェントが統合ブラウザを備える CAD で Ctrl+N を押すと、予期せず CAD が閉じてしまいます。想定される動作は、新規タブが開くことです。

## 解決策

この問題を解決するには、次の手順のいずれかを実行します。

- 新規タブが必要な場合、「Popups In New Windows」の選択を解除します。
- 「Popups In New Windows」が必要な場合、新規タブを開くために、CTRL+N を使用しないようにします。

注: この問題は、Cisco Bug ID [CSCua86175](#) ( [登録ユーザのみ](#) ) に記載されています。

## 問題

Cisco UCCX 8.0 では、Cisco Agent Desktop は起動時に複数の証明書の警告を送出します。これは、Cisco Agent Desktop にアクセスしようとするたびに、自己署名証明書を承認、拒否、または検証するための [Security Alert] ダイアログ ボックスが表示されることを意味します。サーバに接続するたびに、このダイアログ ボックスが表示されます。[Yes] を選択すると、そのセッションの自己署名証明書を承認します。



この問題は、Cisco Bug ID [CSCtj10020](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) に記載されています。

## 解決策

次の回避策を実行します。

1. UCCX サーバから自己署名証明書をインストールします。注: 自己署名証明書をインストールすると、[Security Alert] ダイアログ ボックスは表示されなくなります。自己署名証明書をインストールするには、次の手順を実行します。[Security Alert] ダイアログ ボックスで、( [Yes] の代わりに ) [View Certificate] を選択します。新しいウィンドウが表示され、そこには [Issued to = issued by] と表示されます。これは、自己署名証明書であることを意味します。[Install Certificate] を選択します。自己署名証明書がインストールされます。
2. Java アプレットが警告を投げた場合、パブリッシャを信頼します。

## **関連情報**

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)